

洋書輸入協会会報

VOL. 10

NO. 1

(通巻 105 号) 昭和 51 年 1 月

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

昭和 51 年 元旦

理事長 飯泉新吾



先の記念すべき本会報 100 号誌上で、不況が非循環的・構造的なものであること、低成長・減速経済下において業界としていかに対処すべきかが緊急且つ重要な課題であると所感の一端及び問題点のいくつかを指摘いたしました。今まさに正念場を迎えたといっても過言ではありません。こうした厳しい経済環境下で新たな年を迎えましたが、決意を新たにして業界の発展のため微力ながら力を尽したいと存じます。

さて、本年五月、ご承知のように IPA (International Publishers Association) 大会が京都で開催されます。世

界の出版事業、情報産業が一堂に会して当面する諸問題—情報媒体としての書籍の位置、情報形態の多様化と情報ユーテリテイ、市場構造の変化等が真剣に討議されるものと推察いたしますが、現在わが国情報産業界が当面する複雑な状況のなかで、このような会議が開催されることは誠に意義深いものと考えます。業界との接触を通じて一層の理解を深め、新しい取引関係の進展とその上に立っての業界の発展に寄与することを強く念願して簡単ながら年頭のご挨拶といたします。(丸善株式会社社長)

新年挨拶 理事長 飯泉新吾	1
ご挨拶 村山俊男	2
理事会報告	2
実務シリーズ No. 29	3

受注から発送まで 1 時間 リブリ訪問記(一)	5
外国出版社の紹介 No. 42 (A & C BLACK LTD)	7
Book Review No. 32	8
ニュース	8

通関統計	9
計報	9
総代理店ご案内	9
会員の横顔(渡辺正廣氏)	9
広告(国際書房)	10

1976年の新春を寿ぎ、謹んで年頭の祝詞を申し上げます。
一年の経つのはまことに早いものでまさに「光陰矢の如し」と云う言葉の通りです。ことに昨年度は前年度のGNPマイナス0.6%のあとをうけただけに洋書界のみならず殆どどの業界がきびしい環境条件のもとにおかれ中小企業経営には一段とはげしいしわよせとなつてあらわれてきました。今迄の例ですと前半が冴えなければ後半には明るくなるとか、またその反対であると云った具合に何となくなくずしと云ったパターンが繰り返えされましたが昨年だけはこのパターンが通用しませんでした。之は何も日本だけの現象でなく世界的リセッションは米国等で明るさが見え始めたとは云えまだまだシビヤな環境にあります。私の会社ではサブの輸出をやっていますがやはり国内と同じく政府学校等の予算縮小に悩まされております。

今年のことを考えてみますと、我々業界に最も関心のあつた政府の財政金融面からの対策では景気回復への原動力になるとは云い難いと思はれます。但し全然効力がないと云うわけではなく、底割れ防止にはなりうるでしょう。そして年初から選挙対策との兼ね合いから第5次不況対策がうち出されると推測されます。これらが一時的に景気を刺激することはあつてもまたすぐ景気は冷える惧れがあります。なぜなら現在は低成長期であり不況は長びくのが特徴だからです。

従つて我々はじっくり腰をすえてこの低成長期の不況と取り組む覚悟が在ると思ひます。

売れる時代から売らない時代への変化への対応と共に業界不振の根本的解決のためには、とかくの見方はありましようが、コストを減少させるか、利益を上げるか、また両者を共にするかの三方法しかありません。殊に我々に最も影響を与える外国為替のレートフラクチュエーションの外的要因の他に今年は国内的に郵送料の値上げ問題がいずれ何らかの形で問題にされざるを得ない時がくると思はれます。この意味では経営を守るため、我々が当然忍んでやらねばならぬことは賃上げを生産性向上と見合う形で行い、国によっては上げねばならない売値は上げることであります。確かに賃上げ上昇率の低下と物価上昇は感情的に嫌はれることではありますが、現在の我々にとって最も良い経済状況を作り出すためには、この両者が必要であり、また結局は我々に良い結果をもたらすものと思ひます。勿論お互に首をしめ合うような値引競争などは論外の沙汰と云えます。そして我々にとって現在肝要なことは冷静にこの事実を受けとり対処してゆくことでありましよう。今年は5月にIPAの大会も京都で開催され我々の動向も世界の出版社からも注目されることでしょう。(日本出版貿易株式会社常務取締役)

理 事 会 報 告

11月26日(火)

- (一) 通関委員会から雑誌通関の問題で当局と話しあつたことについて報告。現在はまだ検討中とのことである。
- (二) Nature 誌の問題についての交渉経過について報告があり、協会としてはきちんとした態度を表明することになった。
- (三) 理事会と関西支部との連絡の円滑化について討論、理事会のレポートを交代で関西支部の丹羽理事に送ることとなった。
- (四) 会報委員会から100号記念の合本ができあがつたこと

を報告。この販売につき理事会の協力が求められた。

(五) その他。

12月10日(水)

- (一) 11月分収支計算・予算対比表の検討。
- (二) 洋書祭りの決算報告—総売上げ約270万円—あり。
- (三) 文化厚生委員会からフランクフルト書籍展視察団について会員からアンケートをとることを提案、可決。
- (四) 内外の情勢について討論。
- (五) その他。

新しい通達の解説

蔵 関 第 1 3 5 8 号

昭和 50 年 12 月 13 日

大蔵省関税局長 後 藤 達 太

書籍等を包有する外国来郵便物に対する輸入通関
関係書類の事後処理に関する取扱いについて

書籍等を包有する外国来郵便物に対する輸入通関手続については、その取扱いを下記により行うことができることとし、昭和51年1月1日から実施することとしたので、了知されたい。

なお、この通達の実施に伴い、「書籍及び定期刊行物の郵便並びに航空便による輸入通関について」（昭和33年8月13日付蔵税第1129号）は廃止する。

（理 由）

輸入郵便物については、課税価格が不明確である等の場合には、その輸入のつど、いわゆる到着通知書を受取人に発送し、所要の手続をまって通関するのが原則とされているが、書籍等を包有する輸入郵便物については、我が国の産業、経済、学術、文化等の振興に資するものであり早期引取りの要請があること及び関税率が無税であることから、当該郵便物に対する輸入通関手続の特例的な取扱いを定め、手続の簡素化を図ったものである。

記

1. 取扱いの要領

下記2に掲げる外国来郵便物を下記3に掲げる輸入者が輸入する場合には、一定期間分の当該郵便物の通関関係書類を、事後、一括して提出させることができる。

2. 対象郵便物

無税品である次に掲げる物品（以下「書籍等」という。）を包有する郵便物とする。

（物 品 名） （関税定率法別表の番号）

- | | |
|----------------------------|-------|
| (1) 印刷した書籍 | 49.01 |
| (2) 新聞、雑誌その他の定期刊行物 | 49.02 |
| (3) 幼時用の絵本及び習画本 | 49.03 |
| (4) 楽譜 | 49.04 |
| (5) 地図、海図その他これらに類する図 | 49.05 |
| (6) 設計図及び図案並びに手書き文書及びタイプ文書 | 49.06 |
| (7) 写真、印刷した絵画及びその他の印刷物 | 49.11 |

3. 輸入者

書籍等の輸入業者であって、あらかじめ、下記4の手続により、税関外郵出張所長から、本取扱いの適用につき、その承諾を得ている者（以下「承諾を得ている

者」という。）とする。

4. 承諾手続

輸入者から本取扱いの適用につき、その承諾を受けるための申し出があった場合には、次による。

- (1) 本取扱いの適用につき、その承諾を受けるための申し出は、原則として、輸入者の本社の所在地を所轄する税関外郵出張所に対し行わせるものとし、次に掲げる書類を提出させる。

イ 書籍等を包有する外国来郵便物に対する輸入通関関係書類の事後処理適用願（別紙様式1）

2部

ロ 誓約書（別紙様式2）

- (2) 本取扱いを適用してさしつかえないと認めたときは、上記(1)イの書類に承諾する旨の文言及び有効期限（承諾の日から起算して1年間とする。）を付して、そのうちの1部を輸入者に交付する。
- (3) 本取扱いの適用を承諾したときは、その旨、他の税関外郵出張所に通知するものとする。

5. 事務処理事項

事務処理は、次により行わせる。

- (1) 毎月その月中において輸入（郵便物の受取り）した書籍等につき、翌月15日までに、次に掲げる書類を税関外郵出張所に提出させる。

なお、事後処理を必要としない書籍等に係る仕入書等については、輸入者において、適宜、整理させておくものとする。

イ 普通貿易統計計上郵便物報告表（輸入）2部
（うち1部を輸入報告書とする。）

ロ 仕入書又はこれに代る書類

ハ 輸入届出書等

- (2) 上記(1)の書類提出は、本取扱いの適用につき、その承諾を受けた税関外郵出張所で行わせることを原則とする。

6. その他

- (1) 上記5(1)イに掲げる書類に記載する課税価格は、当該事後処理に係る最終の書籍等が輸入（受取り）された日において適用される週間外国為替相場により換算するものとする。

- (2) 年間契約により輸入される定期刊行物の取扱いは、上記によるほか、次による。契約に係る定期刊行物の最終のものが輸入されたと認められる時点において、承諾を得ている者から、上記5の事後処理を行わせてさしつかえない。

解 説

上記の通り、書籍等の郵便による輸入通関関係書類の事後処理取扱いにつき、大蔵省関税局より通達が出されました。昭和51年1月1日より、この通達に記載の事後処理が実施されます。従来の通関手続きと変わった点は次の通りです。

1. 対象郵便物

従来の品目の他に、新に「設計図及び図案並びに手書き文書及びタイプ文書」と「写真」が追加された。

〔2. 対象郵便物、物品名(6)〕

2. 承諾手続

事後処理取扱いの適用を受けようとする、輸入業者は、予め税関外郵出張所に事後処理適用願及び誓約書を提出し願出で、税関の承諾を受けねばならない。承諾の有効期間は1年。〔3. 輸入者 4 承諾手続(2)〕

3. 事後処理手続上の書類

提出書類のうちの仕入書（インボイス）が、「仕入書又はこれに代る書類」となった。〔5. 事後処理要領

のロ〕

4. 申告外貨の換算レート

従来適用されていた申告時の週間外国為替相場が、事後処理手続分の最終の書籍等を輸入（受取り）した日の週間外国為替相場に変更された。〔6. その他の(1)〕

5. 年間契約により輸入される定期刊行物

仕入書（インボイス）入手後通関手続を行っていたが、年間契約分の最終のものを輸入した時点において事後処理手続きをすることに改められた。

〔6. その他の(2)〕

6. 関税定率法第21条該当書籍を受取った場合、税関へ届出が義務付けられた。〔誓約事項の2〕

郵便で輸入される書籍、定期刊行物等については、我が国の産業、経済、学術、文化等の振興に資するものであり、速報的価値を有するものであることを特に当局にて勘案され、また関税率が無税であることもあって、輸入通関手続の特例的な取扱として定められたものです。

新事後処理手続については、去る12月25日開催の通関実務研習会にて充分ご承知されたことと存じますが、事後処理手続きに間違い無きよう不断のご注意をお願いいたします。特に年間契約の定期刊行物については、仕入書（インボイス）の長期間に及ぶ保管を必要といたしますので、その管理には特にご配慮ください。（丸善 柴田三夫）以上

一 覧 表

従 来 の 通 関 方 式		整 備 改 訂 の 通 関 方 式
通 関 可 能 商 品	49.01 印刷した書籍 49.02 新聞・雑誌・その他の定期刊行物 49.03 幼児用の絵本等 49.04 楽譜 49.05 地図・海図・その他これらに類する図 49.11の2 印刷した絵画等	49.01 印刷した書籍 49.02 新聞・雑誌・その他の定期刊行物 49.03 幼児用の絵本及び習画本 49.04 楽譜 49.05 地図・海図・その他これらに類する図 49.06 設計図及び図案並びに手書き文書 49.11 写真・印刷した絵画及びその他の印刷物
輸 入 者 承 諾 手 続	誓約書（一部） 通関責任者等届出書（一部）	誓約書（一部） 書籍等を包有する外国来郵便物に対する輸入通関関係書類の事後処理適用願（2部） （一部は承諾後、捺印の上返却、有効期間1ケ年）
通 関 必 要 書 類	輸入報告書及び計算書 インボイス 輸入承認書等	普通貿易統計計上郵便物報告表（輸入）2部 （一部は輸入報告書とする） 仕入書（インボイス）又はこれに代る書類 輸入届出書等（I/D）
申 告 為 替 相 場	税関に持参する日の週間換算レート	書籍等を受理した最終日の週間レートで換算する
年 間 契 約 に よ る 定 期 刊 行 物	インボイス入手後申告する	契約期間満了後を待って申告する （定期刊行物が着き終ってから）
21条関係に該当する書籍が流れてきた場合	税関へ提出してその指示を受ける	税関への届出が義務付けられた

統計品目番号の改正について

大蔵省の輸出入統計品目番号が全面的に改正され、昭和51年1月1日より実施されます。

書籍、定期刊行物等の輸入統計品目番号は下記の通り変更されましたので、1月1日以降は新番号にて記載してください。

旧 番 号		新 番 号		品 目
49.01	892—110	49.01	49.01—000	書 籍
49.02	892—210	49.02	49.02—010	新 聞
			49.02—020	雑誌・定期刊行物
49.03	892—120	49.03	49.03—000	幼児用の絵本
49.04	892—300	49.04	49.04—000	楽 譜
49.05	892—140	49.05	49.05—010	地 図
			49.06—000	設 計 図
49.11-2	892—960	49.11	49.11—100	写 真
	892—990		49.11—210	印刷した広告宣伝物
			49.11—291	印刷した書画
			49.11—299	その他の印刷物

以上

受注から発送まで1時間

リ プ リ 訪 問 記 (二)

上 杉 勝 良 (UPS)

在庫品の補充も出庫と同時に進行しており、まわって来た出庫カードの抜き出しを完了すると地上に舞い降りて来て、出庫商品を降ろし、新たな出庫カードと補充商品を積み込んで再び空中に舞い上って行く訳である。唯ここでは出版社と違い、商品の出入りが数冊単位のものが多く、これを完全機械化することは、やはり無理なようで、ゴンドラに人が乗って1点づつ出し入れの作業をしていた。ここで書籍業におけるオートメーション化の最終限界を感じさせた。しかし、このゴンドラシステムの採用により倉庫要員は当初70名が現在約30人と、大幅に削減できたそうである。抜き出された商品は小型ボックスに入れられて、出庫カードがボックスの所定の位置に挿入され、ベルトコンベヤーに乗せられる、ベルトコンベヤーに乗った商品は、あたかも高速道路の自動車のように、かなりのスピードで走り、いくつかのインターチェンジでカードの得意先が自動的に読みとられ、特意先別に集積される。インボイスされた所定のタイトルと冊数の集合が完了すると、とりまとめられて（これは人間が行う）、自動梱包機にかけられ、再びベルトコンベヤーに乗って地域別配送所に送られ、1件落着となる。この間1時間である。配送にはトラック85台が用意されており、めまぐるしく出入りしていた。受注から大体24時間以内に配達可能とのことであった。

在庫調整はインボイスと連動されており、各タイトル毎の適正在庫量の下限に達すると自動的に発注書が作成されて、トレックスその他で休みなく処理されており、在庫切

れを極力押さえる仕掛けになっている。常備在庫以外の商品の発注も受注と同時にコンピューターにより自動的に行われているものと思われる。入荷商品も同様に入荷インボイスによって、コンピューターの在庫量にインボイスによって加算されて行く訳である。

コンピューター及びオートメーション設備はいずれもIBM製で、コンピューターテレビは26台使用しているとのことであった。

このシステムが完全に軌道に乗るまでは7～8カ月を要したそうだが、その間、書籍取次では初めての試みであったこともあって、ミスも少からず発生したそうである。さすがのドイツ人もコンピューター導入をめぐる混乱は避けられなかったものと見える。このシステムの導入によって、当初380人いた従業員は現在300人（内女性200人、）に縮小（約25%）できたが、扱量は約2倍になっており、3倍まで処理可能と云っていた。1人当りの扱量にして3.8倍迄可能と云うことであるから、やはり恐るべき偉力と云わねばなるまい。

コンピューターやオートメーションの導入が直ちに大幅な人員削減には結びつかないが、かなりの扱量の増加を増員なしで吸収できると云う典型的実証を示しているものと思う。

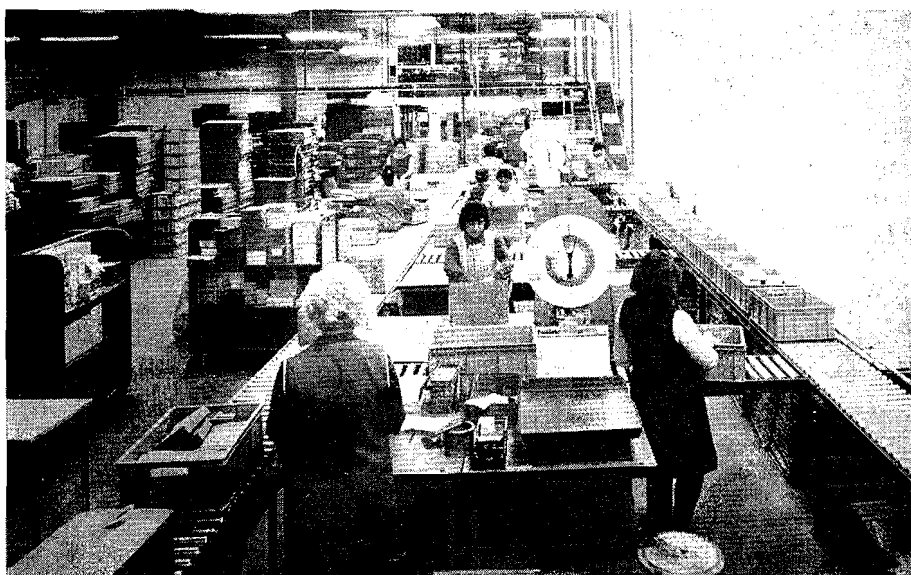
唯、ここで感じたことは、同社のばあい、この設備を導入するに当って、誠に適当なサイズではなかったかと思うことである。我が社のような小さな扱い量では、それこそ

“風呂敷包をトラックで運ぶ”ようなものだし、そうかと云って、日本の東・日販のような巨大な扱量を完全にこなせるかどうかは、はなはだ疑問に思う。リブリの対海外の受注及び発送はハンブルグの方で行っている。ハンブルグの方でも近い将来このコンピューターシステムの導入を計画しているそうだが、そのばあい、フランクフルトの経験を生かして、更に素晴らしいシステムが完成することが期待されている。しかし、現在のところ、ハンブルグは旧態依然たるシステムだそうで、非公式な話であるが、作業環境と設備そして能率の面で、はるかに条件が悪いのにもかかわらず、社員の勤労意欲や定着率、そして質の面でも、ハンブルグの方が高いと云う話は、興味深いと思った。

これは、フランクフルトの方の従業員の質や定着率が特

に悪い、或いは低下したと云う意味では決してないが、一般論として、コンピューターテレビの前で一日中キーをたたいていたり、ゴンドラに乗って空中を上ったり、下ったりしていることが、体は楽かもしれないし、能率も上がるかもしれないが、働く人間にとってはたしてハッピーかどうか、質の向上を期待できるかどうかは大変に疑い深いように思える。同時にいくら定着率が悪くても、モラルが低くても、たいした問題でなくなるのも、超近代的設備の特色のようである。

逆説的に云うと、アメリカにおける、定着率の悪さや、質の低さが、コンピューターを大いに発達させたとも云えるのではないだろうか。また今後、この超近代的設備が人間をどう変えて行くか、興味深いことである。



作業中の光景

倉庫



A & C BLACK LTD

数年前に Book Developing Council が英国の各出版社の代表を日本に派遣した折、この Adam Black 氏の何代目かに当る C. A. A. Black 氏がわざわざ店へ見えてくれた事がある。その折おみやげにと持ってきてくれた皮製の Book Marker がかなり長い間我が家の茶の間にピンで止めて飾られていた事を思い出す。

1800年代のはじめといえば日本では、文化・文政時代の初期に当り鎖国の真最中、しかし開国を求める各国の新しい動きがぼちぼち島国日本にもおし寄せはじめた時期ともいえる。そのような時期の1807年の聖霊降臨節の日曜日に、創始者 Adam Black 氏はエディンバラの South Bridge 57 番地に A. C. Black 社を創立している。Adam Black 氏は同市の建築請負業者の息子として生まれたが、後にエディンバラ大学の学寮長 (Lord Provost) に、又市の議会議員にもなっている。その当時の A. C. Black 社が進めていた出版事業はどれも長期間にわたる企画で Adam Black 氏が社長であった頃に幾多の重要な出版権を獲得している。その中で特筆すべきはご存知の“ブリタニカ” (Encyclopaedia Britannica) と“ウォルター・スコット全集” (Complete Works of Walter Scott) がある。

Adam Black 氏の死後三人の息子が仕事を受けつぎ、1890年に他の出版社と共にロンドンの Soho Square に移転している。

A. C. Black 社の長い歴史のうちで丁度まん中頃に当る 19 世紀後半から 20 世紀前半における重要な事業は“現代における男性と女性” (MEN AND WOMEN OF OUR TIMES) 及びこれも有名な“人名事典” (WHO'S WHO) の出版権の獲得であった。この WHO'S WHO の 1976 年版は、なんと 128 版にあたることになりその息の長さには感嘆の外はない。1914 年会社は有限会社組織

になりその頃の役員の一人が三色半刷りの技術を開発した。そのおかげで出版部数が大幅に増加し、その後の出版事業に多大の財政的基礎をあたえている。しかし 1939 年 (昭和 14 年) 第二次世界大戦がはじまり、ご多聞にもれず英国の出版社でも多くの働きざかりのスタッフが軍隊に召集され、会社の発展は一時中断されている。戦後はあらたに小学校関係の事業に乗り出すことを方針にきめ、これが以降の会社の繁栄の重要な原因となったようである。

1951 年に“歴史展望” (LOOKING AT HISTORY) を出版、これは基礎的な教科書で現在までに 500 万部以上を売っているというからすごい。これに続いて歴史以外の分野をあつかったさし絵入りの本をいくつか発行するようになったが、このあと小学校関係の出版から図書館、さし絵入り子供用図書出版にかわりそれと同時に成人用の図書の出版企画も内容が豊富になった。分野としては、レファレンス、スポーツ、娯楽、歴史、考古学、そして神学などでこの神学部門では新しい聖書の註解 Black's New Testament Commentary もふくまれる。

1975 年にハンチングトン (Huntington) に新しく倉庫の建設を完了、7 月に倉庫及び貿易部は新倉庫に移転、つづいて編集部、製作部と宣伝部は、ベッドフォード・ロー (Bedford Row) の新社屋に移転している。

以上が約 170 年にわたる英国の一出版社 A. C. Black 社の表むきの歴史であるが、その裏にかくれた多くの変転、曲折は推察に余りあるものがあるであろう。我が洋書輸入業界も数年前より多くの困難に直面しつつあるが、困難を乗り越えるため創意と工夫を生かし長い展望に立って、我が国の洋書輸入の歴史の一コマをになって行きたいものである。

(教文社 K.W.記)

洋 楽 索 引

—— 作曲者と原題と訳題を引き出すために ——

小 川 昂 編 770 pp. 辛 7,500
昭和 50 年 11 月 民音音楽資料館

『だれも寝てはならぬ』

『寝もやらず』

『姫君は夜もすがら眠りもやらず』

これは、プッチーニ作曲の歌劇『トゥランドット』の中の『Nessun dorma!』と云うアリアの日本語訳ですが、これらは今まで国内で発売されたレコードのジャケット、音楽会のプログラム等に印刷されたものです。ひとつの外国語の曲名・題名に、いくつかの日本語訳がつくことはめずらしくありませんが、これは図書館、レコードライブラリーでは大変なことになります。日本語で楽譜なり、またレコードをリクエストされた時にはその作曲者、原題名又それがオペラのアリアであったりしたときはそのオペラの原題を……と云うことになり現物がどこにあるかをさがす前に手間がかかります。音楽会のプログラムを作るときに日本語訳をどうつけるかなどと云うときにも何か文献はとさがすこともしばしばです。

洋楽索引は一つの曲に対して原タイトル、作曲家、日本語タイトル（今迄に使用されたものが数種の場合は数種類）から、このうちの一つから他の二つを引き出すことが出来るように

第一部 『作曲者別』

第二部 『原題索引』

第三部 『訳題索引』

の三部に編集されております。これは昭和37年にNHKの編集による『新・外国楽曲の呼び方』（絶版）をそれ以後10数年間の音楽会プログラム、その他のものから取材したもので、作曲者は1893名、原題は13,825、訳題は15,251にのぼり37年編集のものの10倍の内容になっています。編者はNHK音楽資料部長、同音楽部長、NHK交響楽団常務理事を経て民音音楽資料館顧問をされており、音楽図書館協議会顧問であり日本の音楽資料に関する第一人者であります。（Y・H・生）

ニ ュ ー ス

- ☆ 英国 Heinemann Educational Books Ltd. の Mr. Philip Townley と同 (Asia) の Mr. Leon Comber とが12月中旬来日。12月15日に British Council において展示会とレセプションとが行われた。
- ☆ 12月18日にOECD出版物センターにおいて、関係者一同に対するレセプションが行われた。
- ☆ 丸善株式会社の 桜井喜代志氏 退任に伴い、永年の洋書輸入協会に対するご尽力に感謝して、理事会一同により送別会を11月17日に開催した。

- ☆ 会報委員会の創立以来のメンバーとして、また理事会・総務委員会・通関委員会などで各方面にわたるお世話を頂いた丸善株式会社の木下泰雄氏が11月30日をもって退職された。
- 桜井氏、木下氏の在任中のご尽力に対し、誌上を借りて厚くお礼申し上げます。
- ☆ 10月15日東京税関東京外郵便通関協議会主催で横浜税関および横浜港見学がおこなわれ、本協会からも、丸善、紀伊國屋書店各2名、USACO、東光堂、アカデミア・ミュージック各1名が参加した。

通 関 統 計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）

1975年9月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和50年9月 \$8,030,000 1月以降累計 \$74,493,000

昭和49年9月 \$8,068,000 // \$61,482,000

（注）この統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まない。

計 報

桜井喜代志氏 丸善株式会社顧問

去る12月28日急逝され、1月12日築地本願寺和田堀廟所に於て、本葬儀が行われ、理事長 飯泉新吾氏（丸善社長）はじめ洋書輸入協会、関係各界より多くの方が参列されました。
茲に謹んで哀悼の意を表します。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。

お手許の Agent List にご記入願います

(株) 国際書房 ☎ 292-4951

Western Periodicals Company

IEEE INTERCON 1975 Conference Record.

In Library-bound Edition plus Microfiche.

1975. (IEEE) ￥52,000

※ 1976年版から INTERCON は ELECTRO と名称が
変わります。

丸 善 (株) ☎ 272-7211

The United States Historical Documents Inst.

The Controller's Library Collection of Her Majesty's Stationary Office Publications, 1922-1972. 51 Year Accumulation of more than 12 million pages on 35mm Microfilm. (Ready Jan. 1976-June 1979) Set ￥31,770,000

T. Y. Crowell

Wentworth, H. and B. Flexner. - The Dictionary of American Slang. 2nd Supplemented Edition. 1975. 766 pages. ￥4,790

会 員 の 横 顔

洋 販

渡辺正廣

「人と人との間にある見えない糸。それを見出し、美しく保つこと。——これは敬愛する和辻先生の言葉ですけれどね。」……インタビューの終り近く、話が「ヒューマンタッチ」というようなことに及んだ時、一言一言を噛みしめるように、この言葉を口にされる渡辺さんであった。恐らく人生の折にふれては心の中に繰返してきた言葉なのであらう。すぐれたビジネスマン、酒脱な社交家、まれにみる名司会者、等々、接する人はいろいろな観点から渡辺さんを見るであらう。そしてそのどれもが誤りではないのだが、その根底にあって人をひきつけるもの、それはこの渡辺さんの人間観に違いない。

大正4年の東京生れ。旧制の武蔵高校から京大の経済学部に進み、昭和13年三菱商事に入社。太平洋戦争がなかったら、順調に商事マンとしての出世コースを歩んだに違いない。又、そうならば日本の洋書界の地図も大巾に塗りかえられていたことと思われる。

「三井も岩崎もミスター渡辺も、今はゼロから再出発すべきときです。」曾て、昭和12年スタンフォード大学で開かれた日米学生会議に日本代表の一人として参加した時知己を得た友人達が、今はGHQのスタッフであり、その一人の言葉が渡辺さんを刺激した。「ヨーシ、ヤッタルデー！」と怒鳴ったかどうかは知らないが、タトルで二年間洋書修業、そして洋雑誌のDistributionに的を絞って、洋販が神田の一角に呱呱の声をあげることになる。

「和魂洋才」、「流水不争先」。いずれも渡辺さんの好きな言葉である。たまにはお仕事での制服姿も良いでしょう、と写真を撮らしていただいた洋販の社長室の壁の一方も、各国からの多彩なクリスマスカードに覆われ、その対面には春場所新番付が貼ってあるという工合。御趣味の碁の方も、「これは絶対、先を争はず、です。」と冗談半分に笑われる。文化厚生委員長としての活躍や、素晴らしい御家庭の長としての渡辺さんについて御紹介する紙面がないのが残念なところである。（自宅：新宿区南元町8） —KS—



1975年 IEEE INTERCON 議事録

IEEE INTERCON 1975 CONFERENCE RECORD

In Library-bound edition plus Microfiche

The Complete Texts of 109 Papers Presented at 30 Conference Sessions
held during IEEE INTERCON in New York, April 8-10, 1975

1975

675 pages

定価 ¥ 52,000. (マイクロフィッシュ付)

Titles of the 30 Conference Sessions

1. The Microcomputer Revolution.
2. Electronic Instrumentation in Medicine.
3. Technology Forecast: Instrument Design.
4. Advanced Techniques for Automatic Test Equipment (ATE).
5. Technology Forecast: Channel Capacity and Network Capability.
6. Microprocessors: An Alternative to Random Logic Design.
7. Loop Electronics—The New Frontier.
8. Controversial Topics in Digital Communication.
9. Practical Aspects of Fault-Tolerant Computer Design Techniques.
10. Establishing Effective Semiconductor User/Supplier Relations.
11. Will Robotics Answer Industry's Needs?
12. Trends in Electronic Measuring Instruments.
13. Test Generation Techniques for Digital Circuits.
14. Electronics in Modern Transportation.
15. Consumer Electronic Manufacturers Take Their Products to Market.
16. Configurations and Characteristics of Future Digital Logic Devices.
17. Microprocessors in Instrumentation.
18. Impact of New Technology on Hierarchical Memory and Storage Systems.
19. Diagnostic Techniques for Logic-Circuit Boards.
20. Instrumentation in Oceanography.
21. Computer Communication Techniques.
22. Monolithic Linears—The Sleeping Giant Awakens.
23. Access to Computer Networks.
24. Maintenance and Service of Automatic Systems.
25. Satellite Communications Systems.
26. Computer Systems for Medical Applications.
27. Advances in Telecommunications Measurement Techniques.
28. Advanced Navigation Concepts for Low-Cost Application.
29. Component Infant Mortality—Causes and Cures.
30. Physically Short Antennas for MF and HF.

■ 1976年版から INTERCON は ELECTRO と名称が変わります。現在ご予約承り中です。

■ 1975 WESCON も併せてご用命のほどお願い致します。

Published by: IEEE

Distribution by: Western Periodicals Co.

日本総代理店 株式会社 国際書房

本社：東京都千代田区神田小川町 3-5
〒101 TEL 03 (292) 4951 (代)
札幌出張所：札幌市中央区南 3 条西 12 丁目 326 番 10 号
〒060 札幌 ニュースカイ マンション 903 号
TEL 011 (551) 7715

昭和51年 1 月 通巻第105号 洋書輸入協会 編集者 寺久保 一重

〒103 東京都中央区日本橋 1 丁目 20 番 3 号 藍沢ビル 302 号室 ☎ 271-6901

〒530 関西支部 大阪市北区芝田町 28 第一山中ビル ☎ 371-5329